

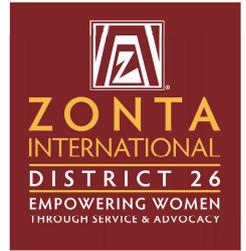


# ガバナー通信



Vol. 1 2018年8月1日

国際ゾンタ26地区（2018-2020）ガバナー 木下 彰子



Tel. : 093-522-1699 Fax : 093-522-1768 E-mail: d26governor@zonta-d26.jp

## ご挨拶

2018年6月30日から7月3日まで日本が初めてホストする第64回国際ゾンタ世界大会が横浜で華やかに開催されました。登録者数2,560、大会期間中の寄付金 \$ 205,116.89 (¥23,137,186)。

「今までの世界大会の中で最高のものにする」というSonja Honig Schough直前世界会長の意気込みが実現した大会だったと思います。26地区も実行委員会のリーダーシップの元、全クラブが与えられた役割を精一杯全うし、まさに全員で作上げた横浜大会であったと思います。

その最終日、ガバナー交代式に於いて、日本が単独で26地区になって以来7代目の国際ゾンタ26地区ガバナー（2018 - 2020）に就任させて頂きました。

今年2月に行われたガバナーオリエンテーションで巡り会った世界32人のガバナーチームの愛称は“BridgeZ”。

2020年の100周年に向けての懸け橋となるゾンシャンです。

Susanne von Bassewitz世界会長と共に、世界中の女性や子供たちが幸せになれるよう26地区の皆様と一緒に活動させて頂く所存です。

2年間どうぞよろしくお願い致します。



26地区ガバナー 木下彰子

## 26地区目標

国際ゾンタ目標 2018-2020に呼応した形で、26地区は以下の目標を定めました。



1. 児童婚を終わらせる
2. “Zonta Says NO” “HeForShe”活動の推進
3. 「同一労働同一賃金」の法制化推進
4. 4つの奨学金全てに応募
5. 100周年に向けての活動展開
6. 会員増強

## 国際ゾンタ世界会長からのメッセージ

Dear D26 Zontians,

It is with deepest gratitude that I think of the great and most memorable Convention in Yokohama. Your thoughtfulness and your wonderful hospitality made it an unprecedented experience for all of us. I'd like to recognize again the tremendous effort that you made to make this event a splashing success. Thank you again so much for everything, not least the generous donations to the Zonta International Foundation.

We had good and lively discussions in Yokohama and took some important decisions. I'm particularly pleased that "Ending Child Marriage" can now be a major Zonta project. I'm confident that the Centennial Anniversary Grants and the pilot scholarship will be accepted by your clubs. Both have the potential to increase Zonta's impact in your part of the world and to broaden Zonta's reach.

The stage is set to celebrate Zonta's Centennial Anniversary. I'm sure that, with heightened visibility, you will be able to attract new members and supporters, I wish you all a wonderful and enjoyable biennium under the leadership of Governor Akiko and her enthusiastic team.

With warm regards,

Susanne



国際会長  
Susanne  
von Bassewitz

### 国際ゾンタ26地区の皆様

横浜大会は思い出に残る本当に素晴らしい会議でした。26地区の皆様のおもてなしにより、世界中から集まった私たちは、期待を超える素晴らしい経験をさせていただきました。横浜大会を大成功に導いていただいた並々ならぬ努力に再度お礼申し上げます。また、ゾンタ財団への寄付に関しても御礼申し上げます。

ビジネスセッションでも元気な良いディスカッションができ、決定に至ることができました。

“児童婚を終わらせる”活動がゾンタの主な活動として展開されるという合意に至ったことは特に喜ばしいことだと感じています。各クラブでも100周年グラントとWIT奨学金を活用して頂けるようお願いいたします。この2つの活動は世界中でゾンタのインパクトを高めることに繋がるでしょう。

ゾンタ100周年を祝う準備はできました！ゾンタの活動をより多くの皆様を知って頂くことは、会員や支援者を増やすことに繋がっていくのです。木下ガバナーそして彼女の元気なチームのリーダーシップの元、この2年間で素晴らしく、楽しいものになりますようお祈りいたします。

敬具

スザンネ

## 国際ゾンタ目標

1. 女性と女性の権利拡大を目指す奉仕、アドボカシーへの取り組み、教育プログラムを通してゾンタのインパクトを最大化する
2. ゾンタの使命をサポートするための資源を強化すること
3. 100周年記念活動を通して世界中でゾンタのプロフィールを強化すること



## 国際委員



財団発展委員会委員  
三宅 定子(岡山)

第65回国際ゾンタ世界大会は、国際ゾンタ創設100周年を記念して、米国のシカゴで、2020年7月4日～8日に開催されます。これにより、世界中からゾンタの活動が注目を浴びるチャンスを得られます。そこで、国際NGOとして、国連との金融協力を明確にすることが重要です。

国際ゾンタ世界大会が開催される前の2年間、世界へ向けてゾンタ財団の概要を提供し、肯定的な成果を収めた企業などに賞を授与することができます。

今後、メアリーE・ジェンキンス協会の150人以上のメンバーで構成されたゾンタ財団が目指す2年間の奉仕目標のNo.2「女性の権利を擁護するリーダー的組織であり続けること」と「それを実現するための方策」の重要事項を学ぶでしょう。

奉仕委員会の主な活動は国際奉仕賞の選出に関わることでありますが、世界のクラブが、地区が国際ゾンタの主旨を理解してそれぞれのクラブで、地区でその主旨のもと活動していることを多くの会員が理解し、それを自分たちでも取り組める環境をつくることだと考えています。

- ① 国際ゾンタは100周年に合わせてアドボカシーと奉仕がさらに強力な関係で進みますので、それをどのような形で広く知らしめて行くかが鍵になります。
- ② さらに今までの奉仕プロジェクトが終了した地域がはたして満足の行く終わり方をしているのかの検証も必要であると考えます。
- ③ 国連とのかかわりの中でより国際ゾンタの活動が明確になる資料等も開示することを模索していきたい。
- ④ 今期の私のリエゾン地区は21地区（スウェーデン・ラトビア）23地区（オーストラリア）31地区（台湾）です。自地区は担当できませんが、地区の奉仕委員長とも連携を取りたいと思います。



奉仕委員会委員  
豊田 由起子(東京II)

## 26地区 理事・役員



ガバナー  
木下 彰子(北九州)

今期は、何と言っても2020年に100周年を迎える国際ゾンタのブランド力を上げる中、これまで同様国連機関と協力して奉仕活動を展開していくこと、そして教育活動においては「テクノロジー系女性のための奨学金」が加わり、一層インパクトの強い活動展開になりそうです。

Susanne von Bassewitz世界会長は、旗艦プロジェクトとして、女性の貧困をなくすために多大な効果をもたらすとして「児童婚を終わらせる」ことに最大の努力をすることを指示されました。

26地区としましては国際ゾンタの目標を達成すべく、皆様と一緒に世界中の女性や子供たちが幸せになれるよう活動をしていきたいと思っています。

歴代ガバナーにはそれぞれ異なる光る持ち味があるが、今期は国際舞台での経験、国際的視野と感性、それを表現する語学力、バイリンガルという面では、稀にみる逸材のガバナーである。「26地区に国際レベルの考え方を導入してくれるに違いない」と夢見て、こてこての京都感覚&関西弁丸出しの不肖、岡澤が、その礎の岩垣を務めさせて頂きたいと思う。

ゾンタの歴史、ゾンタの意味、意義から26地区のゾンシャンがぶれないよう配慮していくこと。26地区が何かの拍子で乱れて仲違いが起こらぬよう、常に一丸となるよう配慮していくこと。26地区にガバナーの国際感覚が浸透するよう配慮していくこと。その上で、ガバナーの趣旨、地区の目標の実現に向けて、理事、役員が一つになり同じ方向を見つめ、26地区のゾンシャンを統制していくように配慮していくこと。何より、ガバナーが思い通りに動きやすいよう配慮すること。

このたくさんの「配慮」が今期の私の活動計画である。



副ガバナー  
岡澤 則子(大津)



エリア1ディレクター  
水野 幸子(函館)

- 1 ゾンタの目標とは何かの基本的な事柄を再度確認するようにする。
- 2 ゾンタの活動は今後どうすべきか考えてゆく。
- 3 会員減、クラブ減をいかに食い止めるか方法を打ち出したい。
- 4 早いうちにクラブ訪問を実行し、クラブとのコミュニケーションを、取りやすくする。
- 5 国際からのニュースをできるだけ迅速に会員に伝える。
- 6 地域の若者たちと交流の場を作り、奉仕活動についての情報を交換する。すでに若者たちも多くの活動をしているので、彼らの活動からゾンタの活動のヒントを探る。
- 7 エリアミーティングに向けて開催クラブと密に連絡を取る。
- 8 地域で、いかにアピールできるか各クラブと話し合う。



エリア2ディレクター  
矢崎 和喜子(東京II)

- ① エリア内クラブと地区理事会の連絡役を務める。
- ② 年1回エリアミーティングを主催する。(2019年5月11日(土))
- ③ できる限りエリア2エリアミーティングの前にクラブ訪問する。
- ④ 2か月に1回エリア通信の作成と配信する。
- ⑤ 26地区理事会に出席する。
- ⑥ 地区大会、各エリアミーティング、エリア内のクラブイベント、周年式典、認証伝達式等に参列する。
- ⑦ エリア内の各クラブの良き相談相手となるよう努める。



エリア3ディレクター  
上田 恵子(大阪I)

- \* ガバナーご指導の下、エリア内を纏めクラブ活性化に協力したい。
- \* 4人のエリアディレクターどうし連絡を取り合い仲良く歩んで行きたい。
- \* この2年間、木下ガバナーの下、エリアディレクターとして務めさせていただく事のご縁と出会いを大切に、誠心誠意務めさせていただきたいと思っています。よろしく願いいたします。



エリア4ディレクター  
和田津 美智代(鳴門)

- 1) エリア通信  
掲載前月8日付で各クラブへクラブ活動報告の作成案内を出し、その月の15日を締め切りとして作成にあたり、偶数月1日に送信。(初回は例外とする)
- 2) クラブ訪問  
できるだけ早期にクラブ訪問を開始しエリア4内のクラブの現状を把握し、エリア内の各会員とのラポールの形成に努め、ガバナーと各クラブのリエゾンとして機能する
- 3) エリアミーティング  
10月以降に今年度エリアミーティング担当の高松ゾンタクラブへ出向き準備を進める。また、次年度エリアミーティング開催予定の沖縄ゾンタクラブと、日程等について話し合う機会をより早い段階で持つ。
- 4) 大会参加  
国際大会・地区大会及び他のエリアのミーティングに参加する。
- 5) 各イベント参  
エリア4内のイベントを中心に、参加が必要な26地区内のイベントに参加する。



会計  
安田 芳子(岐阜)

1. 銀行口座の開設をする。
2. 会員委員長から、6月1日現在の人数で、各クラブ宛、地区費等の請求書をメールする。
3. 偶数月に会員委員長より、会員数の報告が入るため、新入会員がある場合は請求する。
4. 支払はガバナーの許可を得たもの、領収書のあるもののみ支払う。少額の支払は会議等の折、直接支払う。
5. 毎月末「財務報告書―事業報告書」をガバナーに送付する。
6. 1年終了後、中間決算書を作成し、理事会で報告する。
7. 1年後、次期年度の予算書を作成し、理事会で検討する。
8. 常設委員会、委員に対する委員会費は、理事会等の折に渡す。  
(領収書を会計が用意しサインをもらう)



書記  
福島 大亮(北九州)

- ・地区の記録（地区理事会議事録、地区大会議事録、ファイル保存）
- ・地区理事会の手配、案内と出欠確認
- ・地区理事会のレジメ・資料準備
- ・クラブ役員などの取りまとめ
- ・ガバナーの依頼を受けての資料作成、クラブ配信
- ・地区大会の準備
  - クレデンシャル名簿作成、物故者名簿作成
  - 審議事項・地区アワード募集、結果報告作成
  - 地区アワード表彰状作成
  - 英文プログラム作成、
  - デリゲートオリエンテーション
  - 配布資料、プレゼン資料管理
  - 地区大会議事要約作成                    など



翻訳委員  
関 紀美子(東京II)



翻訳委員  
中野 わか子(塩釜)

ゾンタ国際本部の要望に応じて翻訳をするので、仕事量の予測ができない。  
しかし、必要とあれば、本部の了解を得て地区の需要にもお応えしたい。



アドボカシー委員長  
神部 眞理子(仙台I)

1. “Ending Child Marriage（児童婚。17歳以下の女兒の結婚）” について  
“child marriage”を終わらせることは今期の国際ゾンタ最大の課題。その背景は貧困、宗教、伝統、文化など根深いが、知識を共有するため、各エリアで勉強会を開催する予定。
2. “Gender Equality ; women’ s rights are human rights”  
26地区アドボカシー活動の中心を「男女同一労働同一賃金制の法制化」に置きたい。「同一賃金」は基本的人権の一つで、女性の地位向上、男女平等のための条件形成、さらにこどもの貧困大国の汚名返上に繋がるはず。これを法制化するために署名を集め、政府機関に持ち込みたい。
3. “Zonta says NO”  
ZCの存在する地域全てに「性暴力被害者に対するワンストップ支援センター」設置を目指す。



アメリカイアハート  
奨学金委員長  
松崎 恭子(横浜)

アメリカイアハート奨学金への応募者を増やして優秀な応募者に出会える環境をつくる。  
各大学（研究機関）等に奨学金の案内の連絡をし、案内文を送る。  
アメリカイアハート奨学金の概要を把握し、奨学金窓口の説明できるようにしておく。  
11月半ばが提出締切なので、それまでに応募可能な候補者を探す。



バイロース委員長  
西川 ひろこ(奈良)

1. 2018年横浜世界大会で改訂されたバイロースが、国際のウェブサイトに掲載され地区の翻訳専門家の翻訳を経て「国際ゾンタ運営の書」発行の際、ガバナーの支持の下で関わる。
2. 地区手続法が、国際ゾンタのバイロースに抵触していないかチェックを行う。
3. 各クラブのバイロースへの理解を進める。
4. 地区でバイロース改正案、決議文に関する草案作成、提出などがなされる際は、ガバナーの支持の下、関わる。
5. エリアやクラブからの問い合わせに対しては、ガバナーに相談の上、関係者と協議などを経て対応する。



100周年基本財産委員長  
山崎 利恵(東京II)

16年4月に100周年記念委員長のお役を頂き、先ず自分が最初に！を目標に。皆様にお声かけをした処、心良くご協力頂きゾンシャンの心意気に感動致しました。多くの方々のご協力で沢山の寄附を頂き本部より有難うのレターが届き皆様に感謝した処でした。

☆横浜大会では会長のプレッシャーも有り皆様のご協力のもとお蔭で日本が一位に成り有難い事と感謝です。  
主催国の面目が立ちました。



100周年記念事業委員長  
上田 トクエ(奈良)

100周年記念事業委員会は2017年3月に立ち上げられてマスタープランが構築され、横浜大会では以下のプロジェクトが採択されました。

#### 国際ゾンタ100周年記念助成金

クラブの推薦により女性の生活向上に向けた活動をしている地域の団体に助成金を授与。

予算規模 : 総計300,000U S ドル、1件は最高で5,000U S ドル

財 源 : ローズファンド

申し込み受付期間 : 2018年9月1日～2019年3月31日

申請用紙が届き次第お知らせしますので、できるだけ多くのクラブが応募できるようご準備下さい。このプログラムは地域で国際ゾンタの活動を広く知らせ、ゾンタのVisibility（可視性）の向上や注目度を高める効果が期待できます。

クラブ、エリア、地区単位で自由に独自の100周年を記念するプログラムを展開するよう勧められています。創立100周年というテーマは、絶好のPRチャンスです。当委員会のエリア担当委員の皆様や、奉仕委員長、会員委員長、広報委員長など関連する委員長様方と連携しながら地区独自の事業が展開できればと思います。

エリア担当委員は下記の皆様にお引き受け頂きました。

エリア1 柴田 和子様（盛岡） エリア2 畑山喜美枝様（松本）

エリア3 澤井早和乃様（京都雅） エリア4 好永 良子様（安芸コスモス）



センチュリアン  
安田 多賀子(岐阜)

ゾンタ地区マニュアルのセクション3 地区委員会の文中に「ガバナーの任命による役職であり」、「ガバナーのアドバイザーとしてガバナーの指示により仕事をする。」と記してある。

上記のマニュアルをふまえて、次の活動に重点を置きます。

ガバナーの指示による任務を遂行します。

ゾンタ歴の経験を活かして、新クラブ及びZ-クラブ設立の一役を担い会員増強に努めます。



財務委員長  
山田 知里(松本)

決算書作成への協力

適時会計との協力

ガバナーの要請に応える



財団大使  
榎本 和(名古屋SORA)

2018～2020年の国際ゾンタの奉仕プロジェクト支援のために以下の活動をしたいと考えています。

- (1) 26地区の会員委員長と協力して各クラブの会員増強に取り組みます。
- (2) クラブの周年業事など祝賀的なものが開催される時には財団への記念寄付をお願いします。
- (3) この2年間に新しいクラブが誕生するようにSOMとなるクラブに働きかけ協力していきます。
- (4) 事情があって退会した会員の掘り起こしも視野に各クラブ会長にADを通して働きかけます。
- (5) 100周年委員長の活動にも協力していきます。



ヒストリアン  
真鍋 洋子(高松)

\* 「日本のゾンタクラブ50年の歩み」の継続を作成する。 2018-2020

\* 国際、地区役員、クラブ会長の表を作成

\* エリアミーティング エリア3、4 出席予定

\* 徳島ゾンタクラブ50周年 出席



JMK奨学金委員長  
羽藤 成代(和歌山)

アメリカのシラキウスズンタクラブ1990～1995の会員でありました、Jane M. Klausmanにより1997年に若い実業家を育成する為に立ち上げたこの奨学金を少しでも多くの26地区のズンシャンに知って頂く為には、Zクラブの協力はもちろんの事、多くの夢ある優秀な女性とお会いする事であると思っております。

横浜大会において、JMKの委員長会議の中で今期のJMKアンマリ会長は質問の中で、「奨学金受賞基準は国により違うが優れた人材であってもズンタの理念とあっていなければだめである」との事でした。

内容が複雑なので気を付けて下さいとの注意もあり、今期国際賞がUS \$ 7,000から \$ 8,000になったとの事でした。

至らない点も多いかと思いますが、今期よろしくお願い致します。

今期新しく開設された委員会で、横浜国際大会においてセッションが行われ説明を受けた。

目的：“誰もがリーダーに”

標題：“自信を持ってズンタでのリーダーになるには？”

ズンタをよく知ること

- 1) 新入会員へのオリエンテーションの際のマニュアル、クラブマニュアル
- 2) 会長、役員、理事への就任について（メンターの有無も含めて）

2018～19年

- 1) アンケートの実施（2018年9～10月）
- 2) アンケート結果による具体策の検討（可能ならばエリアミーティングで具体的な活動への準備や討議）

2019～20年

- 1) 具体的活動の実情報告（役職への新入就任度等）
- 2) 1)に基づき次のステップを検討

委員会構成：コーディネーター（委員長） 安田 俱子（京都II）

エリア1 山本 蔭子（仙台I） エリア2 向井 優子（東京I）

エリア3 宇治田 恵子（京都I） エリア4 松田 典子（高松）



リーダーシップ  
開発委員長  
安田 俱子(京都II)

「どうすれば会員増強できるのか？」「どんな増強が望まれるのか？」を考えた末、「急がば回れ」ではないが、日本にまず、まんべんなくズンタを作ることに努力したいと思っている。現在、（東北）青森、（関東）茨城、栃木、埼玉、千葉、（中部）新潟、富山、静岡、（中国）鳥取、島根、山口、（四国）愛媛、高知、（九州）大分、佐賀、熊本、長崎、宮崎、鹿児島計18の県にズンタがない。ここを塗りつぶしていくことは偏らない本当の「日本のズンタ」になるだろうし、そこから、同都道府県内の違う地域や、（G）Zクラブに発展させることを考えたい。

とはいえ、木下Gの来期に期待することは、「ズンタをブランド化して、入会するのを憧れるような組織にしてほしい。」である。国際も、「既存の会員を大切にしながら、プロフェッショナルな専門職の人材を獲得しろ。」である。やはり、食事と同じで「質も量も」大事なのである。

①基本的には地区大会における大会会議規則立案。

（今までの地区大会の会議規則の見直しを含む）

②地区内にロバーツ法の知識を広める。

③必要であれば地区理事会への出席

④パーラメンタリアンとして必要に応じて地区への提言



パラメンタリアン  
豊田 由起子(東京II)



広報委員長  
浅川 利恵子(山梨)

- ・パンフレットの作成
- ・26地区のfacebookを作成し、ゾンタインターナショナルのホームページ、また26地区ガバナー、理事会、各エリア、各クラブの活動にリンクさせる。



奉仕委員長  
三輪 光代(姫路)

- アドボカシー委員会と連携、協力して国際ゾンタの勧める早婚防止の勉強会をエリアごとに開き認識をたかめる。
- エリアごとに1名の奉仕委員を置いて各クラブの活動の実情（満足、反省等）を提出してもらいゾンタの方針にそってより良い活動ができるようにすすめていけたらと願っています。



国連委員長  
浅野 万里子(東京III)

- ・国連およびその機関と国際ゾンタとの連携に関する情報を伝え、26地区会員の理解を深める
- ・UN Women（国連女性機関）や国連ウイメン日本協会と連携協力し、26地区として支援を行う
- ・国連女性の地位委員会（United Nations Commission the Status of Women）（CSW）への認識を深めるための情報を提供し、CSW63（2019年）とCSW64（2020年）への参加機会の企画・実施をする。



WEBマスター  
佐藤 智美(高松)

- ・永久メールアドレス設定のサポートをする。
- ・26地区のIT関連のサポートをする。
- ・ホームページのデザインを刷新する。
- ・ホームページの記事を更新する。
- ・地区名簿を作成して、ホームページ上で会員が閲覧できるようにする。
- ・26地区facebook開設、運営のお手伝いをする。
- ・facebookとホームページの記事を共有する。
- ・検索順位が上がるようにSEO対策をする。



WIT奨学金委員長  
岡部 文子(札幌IRIS)

初めて 創設された国際奨学金です。  
各エリアの 科学技術系大学を調べて（各クラブのご助力を頂いて）、  
26地区全体で取り組みたいと思います。

- ・国際から提出されるであろう方針や詳しい条件を早くに情報開示したい。
- ・新しい奨学金の受賞者にぜひとも26地区からとすべてのクラブを巻き込みたい。



YWPA奨学金委員長  
佐佐木 アユ美(金沢)

YWPAとZIの活動目標の整合性を重視

- YWPAにもっと多くのクラブの参加を推奨する
- YWPA活動に向けたリーフレットの作成及び活用  
(地域・クラブ・学校等メディアに向けてのプロモーション用)
- GZ&ZCへのプロモーション及び校長・管理者へのネットワーク  
(タイムリーなメール配信・・・リマインダー)
- 過去の受賞者をクラブや地区大会等に招待し、ワークショップに参加してもらうよう活動する(3月にYWPA・JMK・AEの交友を促進する)
- GZのメンバーへの移行(200人の新メンバー獲得)
- 100周年記念活動を通して、世界中への発信の実施  
YWPA賞の可能性を最大限に広報
- 受賞者が、ゾンタに関わり貢献し続ける方法を検討



Z & GZクラブ委員長  
岩田 真左子(札幌II)

- 1 Z-クラブ委員会の広報、及び新クラブ設立を推奨すること
  - ◆設立目標 2~4 クラブ
- 2 Z-クラブを設立するスポンサークラブへの支援
  - ◆設立に関する書類の送付 ◆認証状伝達式の挙行
- 3 既存のGZ&Z-クラブとの活動
  - ◆国際一地区一スポンサークラブーGZ&Z-クラブ連携の保持
- 4 地区大会におけるZ-クラブサミットの開催
- 5 国際ゾンタの各賞、各種奨学金制度のZ-クラブへの周知伝達、と応募の推奨  
(エマ・Lコンロン賞など)
- 6 GZ&Zクラブ卒業生のその後についての調査、その後のゾンタとの関わり方についての検討

## 26地区 指名委員会



指名委員長  
大須賀 はつ(仙台)



指名委員  
神田 加津代(奈良万葉)



指名委員  
三田 恵美子(フェニックス神戸)

指名委員の神田和津代会員、三田恵美子会員と3名での連携を図りながら、地区大会の60日前までに、公式の候補者名簿と各候補者の資格を公表し、地区大会に於いて指名の報告を実行する事に向けて真摯に活動する。

2019年4月、各クラブ会長と地区役員に、立候補者選出依頼書を送付。更に、4つのエリアミーティングの会長会議に出席し、立候補者の推薦を依頼する。同時に6月の立候補締切までに候補者の推薦に鋭意努める。

国際ゾンタ指名委員会に協力し、国際ゾンタの役員・理事・指名委員になる資格のあるゾンシャンを募る。

26地区のリーダーとして相応しい人材との出会いのためにもエリアミーティングをはじめ各クラブのイベントに出来るだけ出席し、交流の場を広げる。